

異常洪水時防災操作への備え ～命を守る行動を～

資料－7

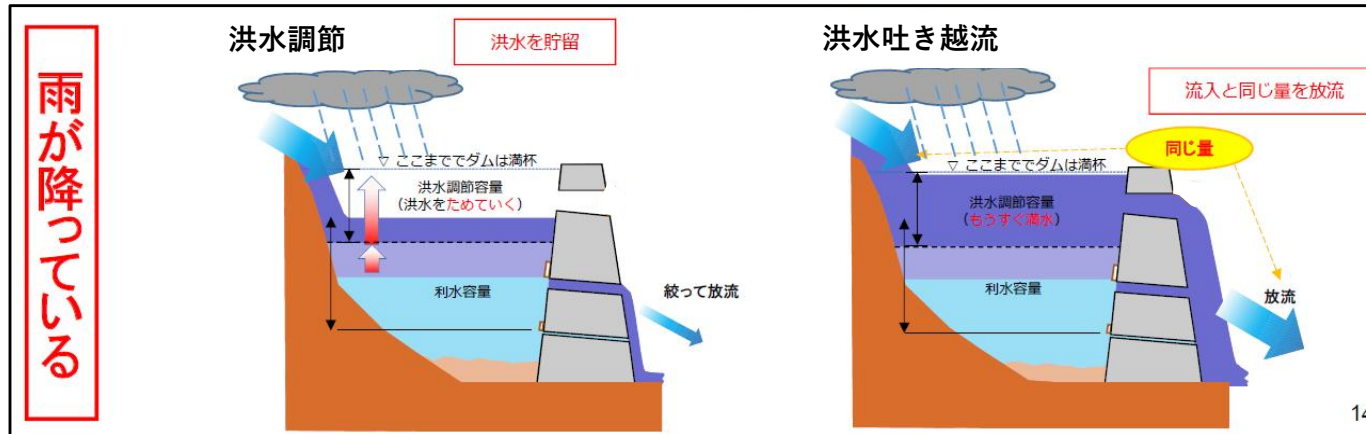
気候変動の影響により、水災害の激甚化・頻発化するなか、**ダム**の計画を上回る洪水が度々発生し、近年は**異常洪水時防災操作**（いわゆる、「緊急放流」）の発生リスクが高まっています。

このため、大規模な水災害に備え、ダム流域関係者に対し、ダムの役割・洪水吐き越流時の下流への影響を事前に周知し、理解を深める必要があります。

【異常洪水時防災操作とは】

大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切る可能性が生じ、放流量が徐々に増加し、流入量と同じ流量を放流する操作。

※祝子ダムは異常洪水時防災操作に伴うゲート操作を行うことはないため、人為的に放流量を増加させることはありませんが、異常出水に伴い、放流量が増加し、流入量と同じ流量を放流することになります。



○異常洪水時防災操作への通知タイミング【土木事務所 → 市町村等】

【通知1】異常洪水時防災操作に移行する**3時前（見込み）**までに**第1報**を通知します。

【通知2】異常洪水時防災操作に移行する**1時前（見込み）**までに**第2報**を通知します。

【通知3】異常洪水時防災操作に移行（開始）した場合、移行しなかった（中止した）場合、終了した場合に再度、通知します。

○洪水吐き越流の可能性が高まる気象

- ・令和2年7月の熊本県球磨川の豪雨時の**線状降水帯**のような**局地的な異常降雨**
- ・**台風接近による異常降雨**：東日本台風（関東方面）、平成17年台風14号（宮崎）

○避難情報のタイミング

- ・ダムの状況によらず、**市町村の避難情報を確認していただき、早め早めの避難**をお願いします。
- ・**命を守る行動**をお願いします。

洪水吐きからの越流 ～命を守る行動を～

【洪水吐きからの越流とは】

大きな出水によりダムの洪水調節容量を使い切り、ダム上部の洪水吐きから越流すること。

祝子ダムの平常時の様子



延岡市：祝子ダム 令和4年台風14号
洪水吐き越流の様子



サーチャージ水位を超える ～市長へのホットライン～

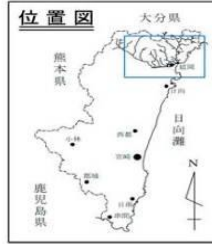
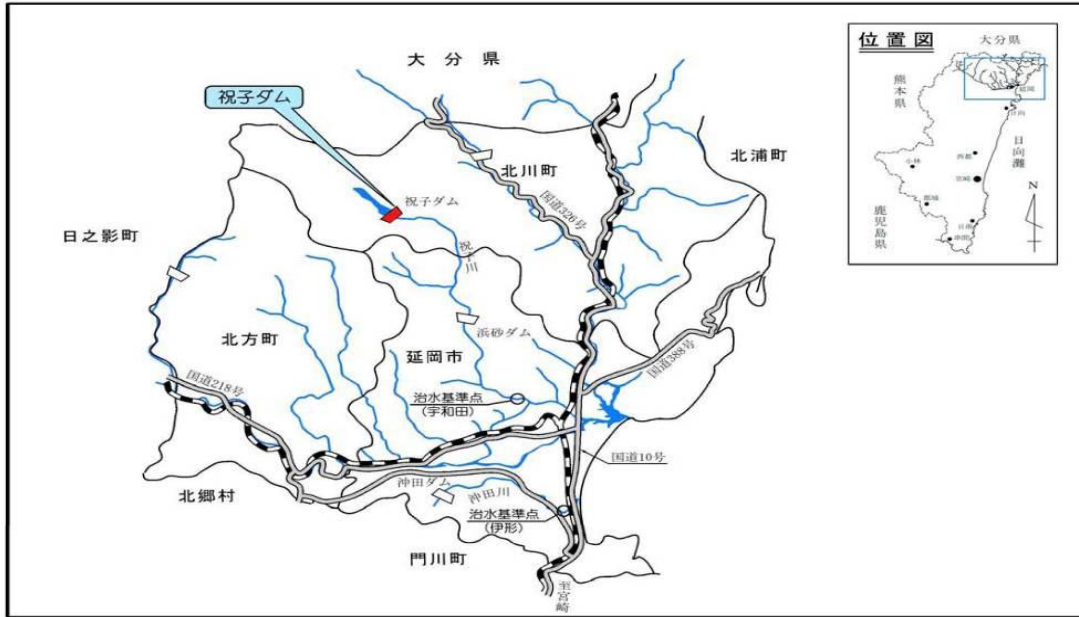
○サーチャージ水位を超える恐れへの通知タイミング【延岡土木事務所所長 → 延岡市長】

【通知1】緊急放流（サーチャージ水位を超える）へ移行する1時前（見込み）までに第1報を通知（ホットライン）します。

【通知2】緊急放流（サーチャージ水位を超えた）に移行した場合に通知（ホットライン）します。

※移行しなかった場合には再度、通知（危機管理企画課）します。

五ヶ瀬川水系 祝子ダム の概要



左岸所在	宮崎県延岡市北川町川内名字田下後山10519-18
河川	五ヶ瀬川水系祝子川
目的	F, N, I, P (洪水調節、不特定用水、工業用水、発電)
型式	G: 重力式コンクリートダム
堤高	60.0m
堤頂長	196.0m
堤体積	132.0千m ³
流域面積	45.2 km ² (直45.2 km ² 間4.9 km ²)
湛水面積	0.275 km ²
総貯水容量	5,774千m ³
有効貯水容量	4,864千m ³
ダム事業者	宮崎県
着手/竣工	1964/1972 (昭和47年)



